

「ケゼニゴケ *Dumortiera hirsuta* は毛だらけ！」

牧野みち (湘南の会)

5月13日 平塚市土屋びわ青少年の家近くで、理想的に毛だらけのケゼニゴケを見ました。



野外ではマキノゴケなどと間違えそうに「毛の無いケゼニゴケ」によく出会います。雌器床や雄器床をつけていない場合は特にそうです。

左の写真では若い葉の背面に白く浮き出た六角型がはっきり見えますが、これは退化した気室の区画の名残だそうです。

又、白い剛毛の生えた雌器床も幾つか写っています。

5月13日の時点では柄はまだ1~2cmと短かく胞子のうは包膜から出てはいません。

6月10日 再度訪れたときには柄は4~5cm以上に伸び、胞子のうは破れていました。



雌器床



5月13日 柄は1~2cm

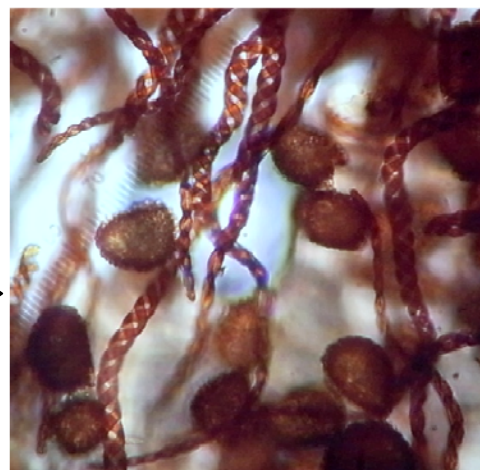


気室隔壁の名残



6月10日

←すでに弾糸が飛び出している



弾糸と孢子 →

